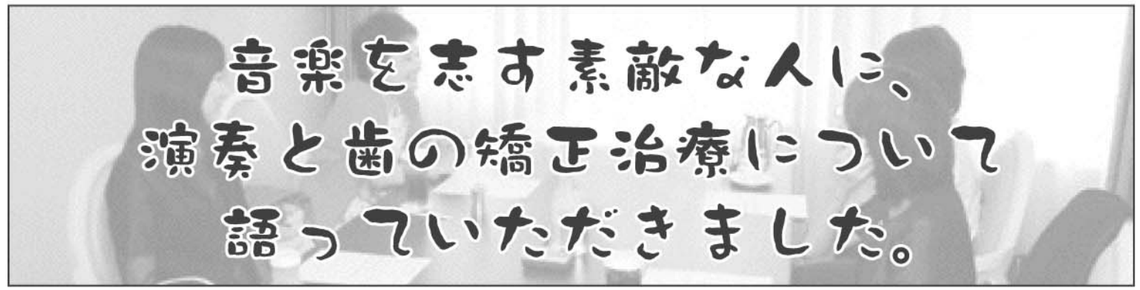

スポーツの世界では、歯並びや噛み合わせが悪いと、イザというとき瞬発力が出ないといわれる。奥歯をグッと噛みしめることができないからだ。そのため、歯の矯正治療を行っている選手もいると聞く。それでは、スポーツと対極にある芸術の場合はどうだろうか。そこで、本格的に音楽を志しているみなさんによる対談を特集した。もちろん、ご出席のみなさんは矯正治療経験者の方ばかりである。

Q みなさんが音楽を始められた、きっかけなどから語っていただけませんか。

A **内藤** 私の場合はピアノですが、小学校の時にヤマハのオルガン教室に通っていました。その時はなんとなく好き、という程度でしたね。ところが、セールスマンの方にオルガンを奨められて自宅にピアノが来た。それで、本格的にやらなくてはという気になりました。いま思うと、あまり積極的な動機とはいえませんね。(笑い)

松坂 私も、ヤマハの音楽教室に通ってピアノを習っていたんです。母が同じ教室に通っていた関係で、自然にそうなったんです。でも、中学3年頃に声楽に進むことにしました。

内藤 あら、私のずっと後輩ですわね。でも、どうして声楽の方へ?

松坂 はい、ある専門の方から、声楽をやったほうがいいって、アドバイスをいただきました。

橋本 きっと、素晴らしい声だったんでしょうね。

鈴木 私も、松坂さんのケースに似ているわね。4歳でピアノを習いはじめて、小学校1年でバイオリンに変わったんですもの。

内藤 そう、最初から自分にぴったりの音楽に出会うのも幸せだけれど、色んなものの中から自分に合ったものを見つける方がいいかもしれない。私だって、ピアノ以外にもっといい楽器があったかもしれないもの。

橋本 みなさんのお話を聞いていると、私とトランペットとのきっかけは、あんまり真面目じゃないかもしれません。音楽が好きで、楽器が好きな私には、その中でトランペットがいちばんカッコよく見えたんです。それで小学校4年の時に始めました。

鈴木 カッコいいから始めるって、とても素直な気持ちで、よくわかります。みんな、どっかでそんな所もあるんじゃないかしら。

内藤 そうね、好きで始めても、カッコいいから初めてもいい。問題はその後。大切なのは「生懸命やり続けることで」すもの。

Q それぞれ目指されている、音楽についての魅力をお聞かせください。

A **内藤** そうですね、ピアノは一人でできますし、伴奏もできます。ほかの楽器は伴奏無しの時もありますが、多くは伴奏が必要です。その点、ピアノの演奏には、さらに伴奏が必要ということがありません。また、音域が広いので、かなりオーケストラ的響きが出せたり、一度にいくつもの和音を弾くと、響きがたくさん出せるところが魅力ですね。それと、他の伴奏がいる楽器、つまりいろんな人と一緒に演奏できるところもいいですね。

鈴木 バイオリンは、ピアノとは逆にたくさんの人とアンサンブルが楽しめるのがいいですね。音の数としては、4本の弦で最高4つまでで、ピアノほど音域は広くないけれど、室内楽でカルテットとかオーケストラで演奏を楽しむことができます。それが私にとってたまらない魅力ですが、橋本さん、トランペットの場合はどうなのかしら?

橋本 私は中学の時からジャズバンドで、トランペットを吹いていますが、まだその深い世界はよくわかりません。でもソロ演奏がいっぱいあって、目立って、ちょっと華やかで、お得な楽器だと思っています。(一同 笑い)

松坂 みなさん、楽器を演奏できていいですね。声楽をやっている私の場合、私自身が楽器みたいなものですから、体調の管理に気を使っています。一人で歌うときと、合唱でパートに分かれてとあるんですが、特に一人で歌うときは風邪をひかないよう注意しています。喉を痛めて声がでなくなったら大変ですから。

Q みなさん、矯正治療を経験なさっていますが、音楽に何かプラスになったでしょうか?

A **内藤** ピアノの場合は、人前で口を大きく開けることも、息を使うこともなくいのでまったくなくなりました。

松坂 声楽の場合は、歯並びによって、出す声が変わると聞いています。歯並びがいいと、声が出しやすくなることは確かです。私はちょっと受け口だったので、上の歯と下の歯が咬み合わなくて、「さしすせそ」の発音がしずらかったですね。それが治療によってスムーズになりましたから。

鈴木 よかったですね。私は大阪で治療を受ける際、バイオリンをしている人はちょっと時間がかかりますよって言われました。

橋本 あら、どうしてかしら?

鈴木 演奏する際、顎をくいしばり、顎で支えるでしょ。それが治療していくうえで、治りにくくするらしいんです。バイオリニストはよく顎関節症になる人がいるといわれますが、職業病なのかもしれませんね。でも治療していただいていたんですが、途中で引っ越すことになり転院しました。

松坂 転院って、また最初から治療するんですか?

治療中に転居してしまったからと言って、最初からやり直しと言うようなことにはならないようです。

矯正歯科治療はもともと時間のかかる治療ですので、患者さんの中には治療中に転居される可能性のある方もみえます。ですから、矯正歯科専門開業医の先生方の多くは、全国的な矯正歯科専門開業医の団体に所属されてみえ、このような場合にも患者さんがスムーズに継続治療が受けて頂けるように配慮されているようです。

診療記録の受け渡しや、治療方針の伝達、治療費の詳細も、全て文書できちんとなされているようですので、ご安心下さい。

橋本 鈴木さんは、大変だったんですね。私はすきっ歯でしたが、トランペットが吹きづらいということはあまり自覚していませんでした。矯正時間が思ったより短くすみ、装置をはずし終わってトランペットを吹いたときは、気のせいか以前より吹きやすくなったような気がしました。

Q 矯正治療中の思い出をお話いただけますか。

A **内藤** 私は顎の発育をコントロールしながら歯並びを治していくという治療方法でしたので治療期間が小学生から高校生までとずいぶん長くかかりました。普通はだいたい2年位で治る終えて装置を外したいとそればかりを願っていましたが、でも、今では、矯正治療しておいてよかったと心から思っています。

鈴木 私は自分の歯並びはあまり気にしていなかったのですが、先に矯正治療を始めた妹が「お姉ちゃんのほうがひどいよ。」と言ったので治療を受ける気になったのです。最初に装置を入れたときは、痛いし、鬱陶しいし、何で矯正治療を始めてしまったのだろうと後悔しました。でも、すぐに慣れてしまうものなのですね。三日間ぐらいは細かく切った物や軟らかいものを飲み込むようにして食べていましたが、一週間もするといつもどおりの食事ができるようになっていましたね。

松坂 私もそうでしたよ。矯正装置のワイヤーを一ヶ月に一度調整する毎に痛みというか違和感というか、なんとも嫌な感じがするのですが、1~2日でそれが消えるということが分かってくると、それ程、苦にならなくなりましたね。

鈴木 もちろんよ、私の生き甲斐ですもの。

松坂 私も、声楽にもっともっと集中しなければ。

橋本 私も「生懸命でした。中学の時はジャズバンドで、高校の時は吹奏楽で演奏していたんですが、口内炎ができるとトランペットが吹きづらくなるんです。でも、私がいないとみんなに迷惑がかかるので、とにかく吹き続けました。

内藤 いろいろあったけど、みなさん、それぞれ頑張った。その頑張りは、きっと音楽にかける情熱の証明でもあるんじゃないかしら。素晴らしいことですよ。

Q 最後に、矯正してよかったと思われる点を言うつお願いします。

A **鈴木** 歯並びのせいでできていた口内炎が、できなくなったことですね。

橋本 さっきもいいましたが、矯正前より吹きやすくなったって感じがしています。

松坂 下の前歯が後ろにさがって、下唇がちゃんと噛めるようになり、発音とかがしやすくなりました。

内藤 治療してから、笑顔が自然に出るようになったことかしら。それと、ドイツへ留学して思ったんですが、向こうの人は歯並びのきれいな方が多く、あらためて治しておいてよかったと思いましたね。

対談者プロフィール

橋本奈央さん
トランペットが趣味。名古屋市立菊里高校普通科在学。夢は、将来もずっと続けていくこと。

松坂綾美さん
声楽を勉強中。豊橋市の私立桜ヶ丘高校音楽科在学。夢は、声楽家として大きな舞台に立つこと。

鈴木絢子さん
バイオリン専攻。愛知県立芸術大学を経て同大学大学院生。夢は、プロとして自立すること。

内藤江美さん
ピアニスト。名古屋市立菊里高校音楽科、東京芸術大学を経て、同大学大学院修了。国際ロータリー財団奨学生としてミュンヘン国立大学に留学。この間、コンクールに入選・優勝を重ね、数々のコンサートに出演。この7月には、世界的に有名なプロ・アル弦楽四重奏団と共演。室内音楽、伴奏においても活躍。現在、名古屋市立菊里高校教諭。

INFORMATION

日本矯正歯科学会市民公開講座
【早めの歯ならびチェック"良い歯ならびと健康"】

日時：平成14年10月22日、午後1時30分～4時
場所：愛知県芸術文化センター（名古屋市中区栄）
演者：
筒井照子／日本矯正歯科学会理事（北九州市）
【噛み合わせと生活習慣】
居波　徹／
日本矯正歯科学会学校歯科保健委員会委員（宇治市）
【「8020」のための第一歩は良い歯ならびから】
司会：後藤滋巳／日本矯正歯科学会理事
（愛知学院大学歯学部歯科矯正学講座教授）
参加者募集：180名.7月を予定

中日本矯正歯科医会は東海三県（愛知・岐阜・三重）の矯正歯科開業医によって作られている会で、東海地区の矯正歯科専門開業医のほぼ95パーセントが所属しております。

中日本矯正歯科医会には専門の教育を十分に受けた矯正歯科開業医だけが加入しています。

また、患者さんに提供する治療レベルを向上させるべく、年に数回会を開催し、矯正治療の向上に関わる情報交換や、症例検討会等を行っております。

中日本矯正歯科医会
Member：Orthodontists' Group of Central Japan
http://www.ortho.gr.jp/
〒460-0003 名古屋市中区錦2-9-27 名古屋繊維ビル3F
TEL 052-201-6480　中日本矯正歯科医会事務局

関連するホームページは…
愛知県歯科医師会　http://www.nhk-chubu-brains.co.jp/ad8020/
日本矯正歯科学会　http://www.jos.gr.jp/
日本臨床矯正歯科医会　http://www02.so-net.ne.jp/~hahaha/

Orthodontists' Group of Central Japan